



学校だより みなみありま



令和2年12月22日(火) 第7号
南島原市立南有馬小学校
文責：校長 永田 佳弘

2学期お世話になりました

本校のシンボル、プラタナスの木も冬支度でたくさん葉を落としています。毎朝、5・6年生の環境委員会の子どもたちや、昼の掃除の時間に3年生が集めています。一生懸命取り組む姿に子どもたちの成長を感じ、心も温かくなりました。

今年度の2学期は8月24日から始まりました。暑さ対策、感染症対策をしながら、いろんな行事を無事に終えることができました。保護者、地域の皆様、御理解、御協力ありがとうございました。

おちば

与田 準一

おちば、おちば、
きの はっぱ。

やまの こざるが ひろったら、
おもちゃの おかねに するかしら。

ならのき、かしのき、
きの はっぱ。

もりの こりすが ひろったら、
でんしゃの きっぷに するかしら。

おちば、おちば、
はっぱっぱ。



風船に想いをのせて



12月8日、人権集会を行いました。放送を使って各学級で、「違いを認める、思いやりの心を育てる」ことを考えました。

その後、運動場で人権委員の皆様の御協力でお風船を飛ばしました。それには、一人ひとりが書いたメッセージと3年生が育てたひまわりの種を添えていました。

すると、熊本県の有明小学校(天草市)、万江小学校(山江村)の子どもたちから、手紙が届きました。拾った子ども達も喜んだようですが、手紙をいただいた私たちも、「絆」を強く感じました。制約が多い中ですが、とてもうれしい出来事でした。



温かい心で乗り越え

新型コロナウイルス感染症の感染者が各地で急増しています。これから、年末・年始に入り、人の出入りも多くなります。これからは気を緩めることなく、一人ひとり感染症対策を続けていきましょう。

感染された方やその御家族に対しての誹謗・中傷、不確かな情報に惑わされるのではなく、温かい心でこの難局を乗り越えていきましょう。



冬休みは、子どもたちと過ごす時間も増えます。大人の姿勢を見せる時、優しさを伝える時です。

ふるさとの魅力にふれて

11月18日に「ふるさと教育」(南島原市教育委員会指定)の研究発表会を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じて、体育館を使って6年生が「原城未来会議」というテーマで、大好きなふるさとへの想いを発表しました。

子どもならではの新たな視点での提案に、参観された方々も大変驚かされていました。



また、1～5年生も、地域の自然に触れたり、ふるさとで頑張られている方のお話を伺ったり、ふるさとから飛ばたかれた先人の方を学習したりして、南有馬、南島原市が大好きになりました。

伝統をつなぐ

「今できることを全力で 輝け!4色の光」

これは今年の運動会のテーマでした。こんな状況の中だからこそ、自分たちにできることに全力を尽くそうという大変頼もしい言葉でした。

昨日は、冬至でしたので、お風呂にゆずを入れたり、カボチャを食べたりした御家庭もあることでしょう。



今年の年末・年始は、家庭や地域の伝統行事も例年と比べると制約を受けることが多くなるかもしれません。

しかし、縮小したり、話をしたりしながらもそれぞれの伝統をつないでほしいと思います。



校舎がきれいになりました

6月末から始まった校舎改修工事が先週で終わりました。足場を組み、シートを覆っての工事でしたので、いろいろ御不便をおかけしました。

昨日の朝、きれいになった校舎を見ると、太陽の光を浴びて見違えるほど色も鮮やかで、大変感動しました。



来校の際は是非お確かめください。御協力ありがとうございました。



運動大好き

コロナ禍で運動不足による体力低下が心配されていました。本校では10月の運動会や12月の校内マラソン大会の実施に向けて、短い時間でしたが子どもたちは、熱心に練習に励みました。保護者の皆様、地域の皆様の温かな応援を受けて、元気な姿を披露することができました。

マラソン大会が終わっても、朝の自主活動や、体育の時間に一生懸命に運動に取り組む姿があります。改めて子どもたちは運動することが好きなんだと感じます。また、寒い中でも取り組むやる気もうれいそうですね。

冬休みは、自宅で過ごす時間も増えます。なわとびの練習は一人でもできて、体力向上も期待できます。親子のふれあいもかねて一緒にされてはどうでしょうか。

